

「道 路」

1. 活動の概要
2. 安心安全マップ（素案）
3. まちかどウォッチング



1. 活動の概要

道路は生活に必要な交通手段であり、遊び場であり、人と人を結ぶネットワークともいえます。お年寄りが、道端で話しこむ姿を見受けるし、こどもがボールを蹴ったり、キャッチボールをしたりしています。

一方、道路には、車や自転車の走行、ひったくり等々の危険があります。

高齢化がすすむ現在、どうしたら道路の安全が確保できるか、そのためにはどうしたらいいかという課題に取り組む必要があります。

その第一歩として、19年度は

- ・ 地区内道路、環境の現地調査
- ・ ベンチの設置
- ・ 「まちかどサロン」の企画として、「まちかどウォッチング」を実施

以上の活動を予定しました。

また、達成目標に

- ・ 地区内の道路、環境の特徴、現状を把握
- ・ ベンチの設置

を掲げましたが、ベンチについては、奥沢地区社協「ココロン椅子」設置活動に任せることとし、まずは現状の把握に努めることにしました。

今年度は、これらの一連の活動に基づき、「安心・安全マップ」素案（別紙）を作成しました。

2. 安心・安全マップ（素案）

次年度以降の「人にやさしいまちづくりのための 安心・安全マップ」作成に向けて地図記載項目について話し合いを行い、現地調査のための区割りや担当者の決定を行い、来年度以降、個別に調査を進めることとしました。

■ 地図に記載する項目

学校、警察署などの公共施設のほか、駅、バス停、医療施設、銀行、郵便局、ATMなど金融機関、スーパー、コンビニ、公園、駐輪場、トイレなどの他、道路の状況を示すものとして、信号、横断歩道、一方通行、坂の傾斜や交通量、道幅、「車に注意」などの情報も必要という意見が多数ありました。また、まちの歴史を紹介する内容、街並みや散歩におすすめの道などを盛り込んではどうかという意見もありました。

すでに地区社協により設置されている「ココロン椅子」の場所も、地図に記載することとしました。

3. まちかどウォッチング

「奥沢グリーンマップ」の製作で実績のある「土とみどりを守る会」からも参加していただき、「まちかどサロン」の一貫として、9月に東玉川地区の「まちかどウォッチング」を実施、20名が参加しました。



■ 担当者の感想

安全なコースを選ぶために、5～6回実踏したが、東玉川には商店がほとんどないというのを実感した。八百屋が1軒だけ。肉屋と魚屋はゼロ。環八沿いにあった唯一の風呂屋も駐車場になった。

1丁目は比較的緑が多いが、住宅建設現場が方々で目にとまった。